

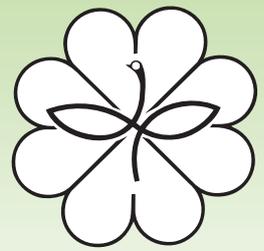
身近な相談相手 民生委員・児童委員

こんにちは、
お変わりないですか？



特集 民生委員・児童委員	2
第18回那須烏山マラソン大会	6
男女共同参画フォーラム	7
学生応援ふるさと便	8
市民などが「みかん狩り」楽しむ	11
まちかどリポート・「からせん」の思い出	13
お知らせ	14
みんなの自慢の1枚・生活発表会	16

人と行政のつなぎ役—— 民生委員・児童委員



足腰が弱いのに
身近に相談できる人が
いないのよね。



子育てについて
悩みがあるけど
家族の話は相談
しにくいわ。

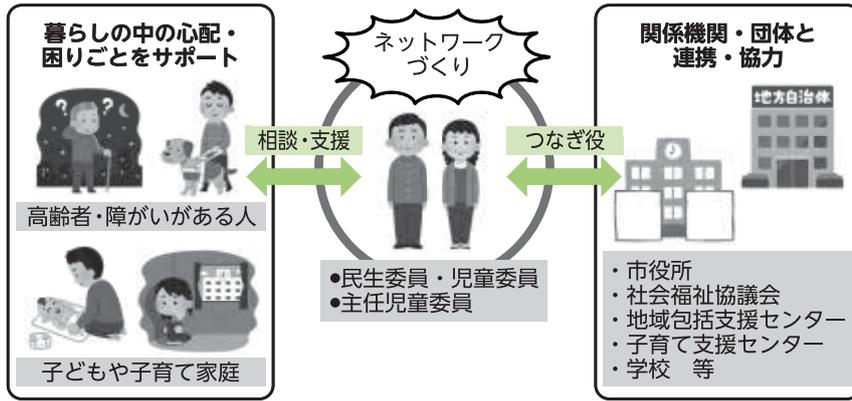
最近、人と
話していないせいで、
暗い気持ちになることが
多いんじゃない。



皆さんは、「民生委員・児童委員」がどのような活動をしているか知っていますか？核家族化や少子高齢化によって地域や人のつながりが薄れている昨今。さらにコロナ禍による対面や移動を避ける生活様式は、つながりをより希薄化させています。その中で不安を抱えていても、「このご時世ではなかなか相談しにくい」と思っている人もいるかと思います。

今回の特集では、不安や悩みを抱える人たちに寄り添い、地域と行政をつなぐ民生委員・児童委員についてお伝えします。

民生委員・児童委員の活動イメージ



市民の皆様と地域・行政をつなぐ、地域に根ざした活動をしています。

民生委員・児童委員って？

民生委員・児童委員とは、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員特別職です。給与の支給はなく(※)、ボランティアとして活動しているもので、任期は3年です。

※交通費など活動に必要な費用弁償があります。

民生委員・児童委員の役割

民生委員・児童委員の活動は、高齢者宅への訪問が主体と思われがちですが、そのほかにも障がいのある人や子育て世帯などへの家庭訪問も行っています。分野を限定することなく、地域住民の身近な相談相手として日常生活の悩みや困りごとなど多岐にわたって対応しています。

また、民生委員・児童委員は、住民が抱える悩みごとや地域の困りごとを解決するために、福祉など行政サービスの情報提供を行ったり、住民の要望を市役所などの行政へ働きかけたり、各種専門機関の紹介などを行っています。困りごと解決の際には個人の私生活に立ち入ることもあります。民生委員・児童委員には活動の中で知り得た情報については守秘義務があるため、相談内容の秘密は必ず守ら



協議会で情報交換する委員

れます。「相談したいけど、他の人に話されたら嫌だな」と相談をためらっていた人も、安心して相談できます。

主任児童委員の役割

民生委員・児童委員の中には、主任児童委員という役割の人がいます。主任児童委員は、子どもや子育てに関する専門的な知識を持った人が委嘱されることが多く、通常の民生委員・児童委員では対応が難しい子どもや子育て世帯への支援を専門に担当します。各地区担当の民生委員

・児童委員と連携をとりながら、市全体の子育て支援や子どもたちの健全育成活動などに取り組んでいます。

本市の民生委員・児童委員

本市には、地区ごとに割り当てられた民生委員・児童委員がいて、烏山地区では39人、南那須地区では26人が活動しています。また、主任児童委員として烏山地区では2人、南那須地区では2人が活動しています。

市全体での連携を図るために那須烏山市民生委員児童委員協議会が年3回開催され、市全体の協議会がないう月には地区ごとの協議会が開かれます。烏山地区では、第2火曜日に那須烏山市烏山地区民生委員児童委員協議会が、南那須地区では、第2

金曜日に那須烏山市南那須地区民生委員児童委員協議会が開催され、各協議会の中で高齢者部会・障がい者部会・児童部会の3部会に分かれて、部会ごとに実際にあった問題を報告、共有し、対応を協議しています。

協議会のほかには、県が行う研修会に参加して自分の地域で活動する際の参考にしたり、市内の高齢者施設や児童施設を視察・訪問することで地域の現状把握に役立てたりしています。また、施設などで歌や演劇を披露するレクリエーションをはじめとした奉仕活動や、定期的に高齢者宅に向いて困りごとの相談と安否確認を行っています。

民生委員・児童委員は、様々な活動をおして、困っている人と行政をつないでいます。高齢者や障がい者、子育て世帯などへの支援は、困りごと解決のために様々な分野にまたがる場合も多く、大変なこともあります。しかし、より良い地域社会になるように、地域のだれもが笑顔で安心して生活し続けられるように、委員の皆さんは地域福祉の充実を目指しています。

次のページでは、実際に活動している民生委員・児童委員の活動を紹介します。

民生委員・児童委員の活動を見てみよう

岡とよ子さんは、約3年前から旭1丁目・2丁目担当の民生委員・児童委員として活動しています。今回は、現在84歳になる平山愛子さん宅への訪問に同行し、おふたりに普段の関わりについてお話を伺いました。



友達のような関係を築き、必要な支援を



民生委員・児童委員
岡とよ子さん

「民生委員・児童委員だからこれをしてあげなくちゃ」ではなくて、友達同士のような関係を築けるように活動しています。やみくもにこちらから手を差し伸べるのではなくて、お年寄りが必要な時に私に声をかけてもらって、必要な支援を届けられるのが理想だと思います。

私からあれこれ聞き出さなくても、お年寄りの方から困りごとを相談してもらえることが多くなりました。それがとてもうれしいので、相談してもらったことはできるだけ解決してあげたいと思っています。また、近所の人もお年寄りのゴミ捨てなどのお手伝いを自主的にしてくれて、地域に自然と助け合いの輪が広がっていると感じています。

平山さんはとにかく明るくてチャームング！お年寄りから元気をもらえるので、私も委員の活動が楽しいです。

岡さんと話すことがとても楽しみ！



訪問先
平山愛子さん

夫が亡くなって気落ちしていた時期もありましたが、民生委員・児童委員の岡さんにいつも来てもらって助かっています。岡さんは声をかけやすいし、困ったことを伝えればすぐに対応してくれるので、安心して生活できています。何より、岡さんと話をするのがとても楽しいです。

3年前に岡さんに誘ってもらった「高齢者ふれあいの里」に、毎週行くのが楽しみで仕方がないです！最初は体が思うように動かなかったり、ごはんもたくさん食べられなかったりしましたが、今では元気に体が動かせるし、美味しくごはんが食べられています。皆さんと体操したり工作したりしていると、つつい夢中になってしまいます。

会長の声



那須烏山市民生委員
児童委員協議会
会長 大谷頼正さん(小河原)

民生委員・児童委員の活動を始めて、7年目になります。コロナ禍になってからは、県が主催する研修への参加や福祉施設の視察などの活動がほとんど中止となってしまいました。民生委員・児童委員として積極的な活動がなかなかできず、大変な面もあります。研修や視察は、事例研究などをおして家庭ごとに異なる問題に適切に対応するための知識を得られる大切な学びの機会です。集まって学ぶことが難しい現在では、委員それぞれが映像教材を活用することで、密を避けながら学びの機会を絶やさないように努めています。私自身、活動の中では、直接訪問するだけでなく、遠くから様子を確認したり買い物で会ったときに世間話をしたりという「日常生活の中での見守り」を意識しています。いずれはコロナ禍が終息して、以前の日常が戻ってくれば、それが委員にとっても訪問を受ける側にとっても、良いことですね。

新たな民生委員・児童委員を紹介します

令和4年12月1日付けで、民生委員・児童委員として厚生労働大臣および栃木県知事から委嘱された皆さんをご紹介します。

日常生活の悩みや困りごとなど、気軽にご相談ください。なお、欠員の地区については、隣接する地区の民生委員・児童委員が担当することになります。

各委員に連絡をとりたい場合には下記あてご連絡ください。

■問合 健康福祉課社会福祉グループ ☎0287-88-7115



南那須地区

1	佐藤 美枝子	田野倉・岩子	16	阿久津 広美	月次
2	市村 満子	小倉・宇井	17	原口 秀樹	大金台
3	小堀 由美子	大金	18	赤羽 幸雄	南大和久
4	大谷 頼正	東原・小河原	19	塩田 勇一	藤田
5	佐藤 とも子	高瀬	20	須藤 芳枝	三箇下
6	加藤 恵子	大里・曲田	21	古口 ヨシノ	三箇中
7	室崎 康之	森田宿・小埜・輪之内	22	和久 純子	三箇上
8	欠員	曲畑	23	金枝 好光	上川井
9	小池 要一	八ヶ代	24	鈴木 洋子	下川井上
10	小池 秀子	福岡・芦生沢	25	滝 初枝	下川井下
11	欠員	鴻野山	26	小口 淑子	志鳥下
12	谷貝 正明	こぶし台	27	戸谷 加代子	志鳥中
13	佐藤 弘子	小白井・西野	28	村上 良子	志鳥上
14	栗田 定男	熊田西	29	小堀 八重子	主任児童委員
15	鯉沼 和夫	熊田東	30	黒崎 紀子	主任児童委員

烏山地区

1	欠員	あたご(国道西側)	25	根本 量一	向田東、向田南
2	欠員	あたご(国道東側)	26	高沼 庄一	向田西一、向田西二
3	水井 三恵子	金井(国道西側)	27	馬籠 政光	落合
4	海老根 眞理子	金井(国道東側)	28	大橋 文子	宮原
5	村上 和男	金三、南(南1丁目)	29	大島 靖久	上境三ツ木、上境一の沢
6	堀江 進一	金三、南(南2丁目)	30	石川 博郷	上境中、上境上平
7	塩野目 正子	金三、南(初音)	31	池澤 豊	下境上、下境西、下境尼寺
8	高野 由利子	仲町	32	欠員	下境前石原、下境後石原、下境川辺、小原沢
9	南木 敏之	泉町	33	澤村 二郎	横枕、小木須上
10	大崎 俊夫	鍛冶町	34	栗田 忠司	小木須中、小木須四斗葺、小木須川戸、小木須国見
11	玉村 光子	日野町(中央2丁目、初音、旭1丁目1~4・6・7)	35	堀江 功一	大木須
12	岡 とよ子	日野町(旭1丁目22~24、旭2丁目4~8・11~15)	36	大貫 圭紀	大沢
13	服部 智子	日野町(旭1丁目5・8~21、旭2丁目1~3・9~10)	37	小林 高夫	興野上、興野中
14	鳥山 幸子	元田町	38	國井 新一	興野下一、興野下二
15	喜多山 育美	屋敷(中央3丁目)	39	佐藤 順子	滝田本郷
16	江井 博行	屋敷(中央1丁目)	40	高久 廣美	入滝田
17	欠員	城東	41	高森 茂	中山、八ヶ平、平野
18	高野 多起男	高峰パークタウン	42	高橋 ふぢ子	谷浅見
19	青柳 眞智子	神長上、神長中、神長川西	43	渋井 京子	大桶中、大桶下
20	高瀬 正衛	滝、神長下	44	長谷川 ミイ子	大桶上、白久
21	岸 希夫文	野上上の一部	45	高野 幸恵	主任児童委員
22	佐藤 道子	野上上の一部、野上下	46	欠員	主任児童委員
23	粕谷 和子	野上第四	47	齋藤 恵子	主任児童委員
24	欠員	野上舟戸、野上台団地			

ランナー170人が爽やかに風を切る 第18回那須烏山マラソン大会



親子マラソンがスタート



笑顔でゴール！



公園の外周を走るランナー

部門別上位入賞者 ※敬称略

■1周コース(約1.7km)

【小学4・5・6年男子】

- ①和久葵波(下川井) ②手塚惺音(旭1丁目)
③塩野目公康(下境)

【小学4・5・6年女子】

- ①手塚花恋(上川井) ②福田怜亜(小埜)
③手塚芹奈(上川井)

【親子(幼児～小学2年)】

- ①平野純・誠稀(南1丁目) ②樋山光・太陽(宮原) ③佐藤達也・彩音(さくら市)

【親子小学3・4年】

- ①金枝芳明・道大(上川井) ②中山陽樹・陸(ハケ代) ③大塩千暁・琉花(鴻野山)

■2周コース(約3km)

【中学生女子】

- ①福田姫愛(小埜) ②瀧澤愛優菜(ハケ代)
③黒尾夏希(上川井)

【一般男女高校生以上】

- ①猪野卓也(福岡) ②各和芳幸(上境)
③手塚貴心(旭1丁目)

■8周コース(約10.6km)

【一般男子高校生～59歳】

- ①柳田尚皓(福岡) ②高木洋一(志鳥)
③増渕勲(ハケ代)

【一般女子高校生～59歳】

- ①川俣日奈子(野上) ②高野彩子(滝)

【一般男女60歳以上】

- ①大木己芳(野上) ②高庄太平(高根沢町)
③平山勝男(野上)

12月4日(日)、大桶運動公園で「第18回那須烏山マラソン大会」が開かれ、約170人が参加しました。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小し、市内在住・在勤・在学の人を対象に実施。コースは公園内を周回するもので、参加者は1周コース(約1.7km)、2周コース(約3km)、8周コース(約10.6km)の10クラス別で順位を競いました。

当日は晴天にも恵まれ、参加者は家族や仲間の声援を味方に、冷たい風を切りながら、それぞれの走りを楽しみました。

スポーツ体験ブース

初の試みとして、会場内に4つのスポーツやストレッチの体験ブースが設けられました。多くの親子連れがそれぞれのスポーツなどを楽しみました。

■フライングディスク(市スポーツ推進委員)

円盤状のディスクをアーチェリーの的めがけて投げます。大人でもコントロールが難しそうでした。

■サッカーリング(南那須少年サッカー連盟)

芝生に描かれた的の中心を狙ってサッカーボールを蹴ります。子どもたちは、同連盟のスタッフから蹴るときのコツを聞いて、サッカーの楽しさに触れました。



ボールの蹴り方を教わる子ども

■ストラックアウト(市スポーツ推進委員)

様々な形をしたボールを投げて的を狙います。参加者はボールの形によって、投げ方を工夫していました。

■親子でストレッチ

(県リハビリ専門職協会那須烏山支部)

同支部のスタッフが講師となり、タオルを用いたり、親子で一緒に行う体のケアの方法を学びました。



タオルを用いてストレッチする参加者

あなたの力で輝く地域を なすから男女共同参画フォーラム

市では、12月10日(土)に烏山公民館で3年ぶりとなる「なすから男女共同参画フォーラム」を開催し、市民など55人が参加しました。

はじめに行われた市国際交流協会(萩原紀夫会長)主催の「市内に住む外国人による日本語発表会」では、毎週土曜日に烏山公民館で行われている日本語教室に通う外国人が、日頃感じていることなどをこれまで学んできた日本語で発表しました。

続けて行われた講演会「コロナ禍で顕在化した女性問題について～今、わたしたちに何ができるかを一緒に考えましょう～」では、宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部特任助教の川面充子氏を講師に迎え、コロナ禍で浮き彫りになった女性の「生理の貧困」をテーマに講演を行いました。

最後には、音の旅人くみ∞せいさんによる演奏「ギターと小さな木の笛」が行われ、素敵な音色でフォーラムが締めくくられました。

参加者からは、「コロナで今までの日常生活が大きく変わってしまったが、貴重なお話を聞くことができ充実した時間を過ごせた」との声がありました。



上：日本語発表会に参加した外国人と萩原会長（中央）
中：川面充子氏による講演会
下：音の旅人くみ∞せいさんによる演奏



▲オーストラリアの児童とオンラインで交流する児童

境小児童がオーストラリアの小学生と オンラインで会話楽しむ

11月30日(水)、境小学校で5・6年生32人がオーストラリアのブラーゲン小学校の5・6年生とオンラインで交流しました。これは、英語教育の一環として同校が独自に行っているもので、モニター越しに向き合った子どもたちは、「好きなものは何ですか」「学校には何人の児童がいますか」など英語で質問し合い、終始笑顔で会話を楽しんでいました。

熊谷眞優斗さん(上境)は、「相手の英語が聞き取れて良かった。日本にはない文化を知ることができて楽しかった」と話していました。



▲旭交差点で街頭指導を行う関係者

交通事故防止を啓発 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

交通事故が多発する年末に、市民一人ひとりの交通安全意識の浸透を図り、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることを目的に、「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」が12月11日(日)から31日(土)までの21日間行われました。

12日(月)には旭交差点で、市や那須烏山警察署、交通安全協会、安全運転管理者協議会などの関係者15人が特別街頭指導を行い、安全運転を呼びかけました。



◀県からの表彰状を手にする田代さん

田代優子さんが PTAの三行詩で全国表彰

「栃木県三行詩コンクール」一般の部で、田代優子さん(上川井)の作品「マスクとる 娘の顔は前歯なし ちょっぴり笑える成長の証」が栃木県PTA連合会長賞を受賞しました。さらに、日本PTA全国協議会の最終審査に推薦された同作品は、見事、日本PTA全国協議会長賞に輝きました。

田代さんは、「みんな一度は経験があるようなほっこりする瞬間を三行詩にした。受賞は驚いたが、周りの人から『おめでとう』と言ってもらえて良かった」と話していました。



▶表彰された櫻井さん(右)と田代教育長(左)

社会教育の分野で活躍 櫻井さんが文部科学大臣表彰

櫻井恵子さん(鴻野山)が多年にわたる社会教育振興への功績が認められ、文部科学大臣から表彰されました。櫻井さんは、平成12年から社会教育指導員を務めたほか、平成23年から10年にわたり、市社会教育委員として活躍しました。12月9日(金)には、市役所南那須庁舎で賞状伝達式が行われ、田代和義教育長から表彰状が手渡されました。

櫻井さんは、「身の丈以上の表彰。周囲の助けを受けつつ、市民の皆さんと楽しんで活動できたことが今回の表彰につながった」と話しました。

特産品を市外の学生へ 学生応援ふるさと便

市では、市外で生活する本市出身の学生の生活を支援するため、企業版ふるさと納税を活用し、米や加工品などの食料品を中心とした市の特産品(5,000円相当)を無料で送付しています。また、市の特産品に加え、故郷である本市へのUターン就職を視野に入れた就職活動を検討していただきたいという思いから、市内の事業所に関する情報や本市の就農支援ガイドなども併せて送付しています。

「学生応援ふるさと便」の対象は、本市出身の大学生や短大生、専門・専修学校生です。送付を希望する場合は、「学生応援ふるさと便申込書」(市ホームページ掲載)に必要事項を記入のうえ、1月31日(火)までに下記あてメールまたは郵送でお申し込みください。また、QRコードからも申し込みできます。

なお、ご家族やお知り合いに該当する学生がいる場合は、対象者への周知にご協力をお願いします。応募方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■問合 総合政策課秘書政策グループ ☎0287-83-1112
〒321-0692 中央1-1-1
Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



▶特産品の内容は、写真のものと変更となる場合がありますので、ご了承ください。



部活動・学習サポート事業 宇都宮大学生が中学生に指導

市教育委員会では、市内2つの中学校で部活動と学習のサポート事業を行いました。

これは、宇都宮大学の協力のもと行われたもので、講師は、同大学共同教育学部の学生・大学院生17名(学習サポート:10名、部活動サポート:7名)が務め、中学生のため熱心に指導にあたりました。「学習サポート」は、中学2・3年生を対象に、英語検定に向けた学習のほか、国語・数学などの個別指導を行いました。また、今年度は南那須中のみで実施している「部活動サポート」では、ソフトテニス部、剣道部、吹奏楽部で大学生の専門的な知識や技能を活かし、技術指導や練習活動のサポートを行いました。

南那須中2年で吹奏楽部長の古口哲平さん(田野倉)は、「教えてくれる人がいると演奏のコツが分かりやすい。大学生の皆さんが優しいので、緊張せず楽しく練習できている」、同大学2年で学習サポート担当の荒川稚葉さんは、「実際に教えることで、大学で学んだこととの結びつきがよく分かり、教える楽しさを実感している。教師を目指しているので、この経験を活かしたい」と話していました。



上：大学生が丁寧に学習指導
下：演奏の指導を受ける中学生

渥美さん、生田目さんが サッカーで関東・全国大会に出場

烏山中3年の渥美来翔さん(旭1丁目)が所属する矢板SCが、6月5日(日)に矢板で開催された「第28回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会」と、11月5日(土)に千葉県で開催された「第34回全日本U-15サッカー選手権大会関東大会」に出場しました。6月5日(日)の大会ではサイドハーフのポジションで出場し、ドリブルで3人抜きの大活躍をした渥美さん。「高校進学後は、競り合いに負けない体作りとトレーニングを頑張っ、レギュラーになりたい」と今後の目標を語りました。

七合小6年の生田目虎雅さん(南1丁目)が所属するヴェルフェ矢板が、12月26日(月)～29日(木)に鹿児島県で開催される「第46回全日本U-12サッカー選手権大会」に出場します。フォワードのポジションを務める生田目さんは、ゴールを決めた瞬間がサッカーをして一番楽しいときだそうです。「緊張するけれど、いっぱい点を取ってベスト16以上に行きたい」と、頼もしい言葉で大舞台への意気込みを語りました。



上：関東クラブユース大会に出場した渥美さん
下：全日本選手権大会に出場する生田目さん

新鮮な視点の句がそろう 令和4年度山あげ俳句大会

那須烏山市山あげ俳句全国大会実行委員会(鈴木美江子実行委員長)が市内の小・中学生から俳句を募集し、「山あげ俳句大会小・中学生の部」を開催しました。

今年は、児童・生徒1,046人から2,289句の応募があり、小学生は低・中・高学年の3区分、中学生は1区分で合計72句が入選しました。鈴木実行委員長は、児童・生徒が詠んだ句について、「子どもらしい発想で、俳句の裾野を広げてくれる素晴らしい句がたくさん集まった」と語りました。

入賞作品は、3月末に昨年度の作品と入れ替えを行い、山あげ会館展示室に展示される予定です。



◀ 右から鈴木実行委員長、川俣市長、一ノ渡副委員長、田代教育長

俳句大会上位入賞者

■小学生の部

○金賞

ほんばんだやまあげまつりはつぶたい
烏山小1年 松本幸之助さん
がまがゑるひめさまのせておとおりだ
荒川小3年 塩田綾乃さん
追い越せずバトン日焼けの手へ渡す
荒川小6年 栗田祐貴さん

■中学生の部

○那須烏山市長賞

サイダーがはじけるように泣いた夜
南那須中3年 羽原拓海さん

○那須烏山市教育長賞

かき氷笑ったあの子の舌は青
烏山中2年 鶴田一遙さん

○大会実行委員長賞

あおむけのせみに驚く通学路
南那須中2年 栗田沙紀さん



◀ 清掃活動をした屋敷ふれあいの里の皆さん

屋敷ふれあいの里 ボランティアで落ち葉掃き

11月18日(金)、「屋敷ふれあいの里」の利用者やスタッフが、ボランティアで龍門ふるさと民芸館周辺の落ち葉掃きを行いました。

これは、同ふれあいの里の活動の一環として行われたもので、当日は利用する高齢者やスタッフ19人が、民芸館前の駐車場や蛇姫橋周辺などの落ち葉を、ほうきですみずみまで清掃しました。

約1時間の活動で集まった落ち葉はごみ袋25袋ほど。参加者は爽やかな汗を流しながら、互いに交流を深めました。



◀ ステージでの舞踊披露

3年ぶりの開催 歳末チャリティーショー

11月26日(土)に烏山公民館で、烏山地区民俗文化奉仕協会(五月女雅輝会長)が「歳末たすけあいチャリティーショー」を開催しました。

この催しは、高齢者や勤労者の慰安のために毎年行われていましたが、コロナ禍によってここ2年ほどは中止に。今回は再開を望む声を受け、感染症対策をしながら3年ぶりに開催されました。当日は、多くの出場者が歌や舞踊を披露し、来場者を楽しませました。

収益金は、市社会福祉協議会に寄附し、福祉活動などに活用されます。

親子連れや外国人などが 国見で「みかん狩り」楽しむ

11月20日(日)、小木須の「八溝観光みかん園」で、なすから子結び団(平野達朗代表)がみかん狩りを行い、親子29人が参加しました。

子どもたちは、みかんの甘さに驚きつつ口いっぱいにみかんを頬張ったり、より甘いみかんを見つけようと木々の合間を元気いっぱい走り回ったりしていました。みかん狩りを楽しんだ後は、「棚田で遊ぼう」というテーマで、国見の棚田で収穫されたお米を現地で炊いて食べたり、棚田について学んだりしました。

また同日、「国見山みかん園」では、市国際交流協会(萩原紀夫会長)がみかん狩りを行い、ベトナムやフィリピン、タイなどの在日外国人と市民など35人が参加しました。参加者は、みかん狩りを楽しみながら交流を深めました。

参加したフィリピン国籍のベルナデット・ランサンガンさんは、「初めての経験で楽しかった。みかんは、すっぱいけど甘くておいしかった」と笑顔で話しました。



上：みかんを味わうなすから子結び団の子どもたち
下：参加した市国際交流協会の皆さん



◀一つひとつ丁寧に門松を作り上げる会員

シルバー人材センターで まごころ込めて門松作り

シルバー人材センターで、恒例の門松づくりが行われました。今年度は、11月中旬から作業を開始し、7人の会員が大・中・小合わせて約130組を制作しました。門松は、市内外の企業などに販売されたほか、市役所各庁舎や市内の老人福祉施設などに寄贈されました。

代表の網野廣之さん(下川井)は、「多くの人に喜んでもらえるように、まごころ込めて作っている。お届けした門松で、皆さんの気持ちが少しでも和めばうれしい」と話していました。



◀散策を楽しむ参加者ら

街に賑わいを興す会 着物で紅葉と文化を楽しむ

街に賑わいを興す会(小堀ひろ子会長)が11月27日(日)、「着物で晩秋の街並みを散策」を開き、着物に身を包んだ地域住民20人が参加しました。

当日参加者は、山あげ会館近くで開かれた「なかマルシェ」で買い物を楽しんだのち、一乗院で市指定有形文化財の毘沙門天立像などを見学。昼食後には、興野大橋から赤や黄色に色づく情景を楽しみました。また、宮原の落石では、歌人・早野巴人の句碑を訪ねたり、参加者で川柳を詠んだりして、晩秋の市内散策を楽しみました。

大生工業株式会社 宇都宮工場

今年度から始まった「市ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」。今年度は5社の企業が認定されました。

認定番号第2号の大生工業株式会社宇都宮工場は、従業員数100名（男性89名、女性11名）で産業機械用オイルフィルタおよびオイルクーラを生産していて、南大和久に工場を設立し50年が経ちます。多くの従業員が地元や近隣から通勤しています。

生産効率を向上させるため生産方式を見直し、綿密な計画に基づいて生産するように改革をしたところ、残業がほとんどゼロになりました。有給休暇を取りやすいように、半日や1時間単位で取得できる制度を導入するなどプライベートの充実を応援しています。また、「健康経営」を掲げ、市武道館での腰痛改善プログラムの実施や、だれでも利用できる血圧計・足つぼマットの設置、食堂には自由に飲む牛乳を置くなど各種健康事業を実施し、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。



上：認定証交付式。川俣市長と飯野隆専務取締役
下：市武道館での腰痛改善プログラムの様子



「しつけ」ってなんだろう？

「しつけ」とは、子どもに正しい生活習慣や社会のルールなどを身につけさせ、健やかな成長をサポートすることです。子どものためと思っても、体罰や暴言などを伴う行為は「しつけ」とは言えません。このような行為は虐待にあたり、子どもの健全な成長や発達を妨げます。

毎日、子育てを頑張っているママ・パパ。疲れやストレスがたまってくると気持ちにゆとりがなくなってしまう、思わず感情的に怒鳴ってしまうことがあるかもしれません。イライラスイッチが入りそうになったら、まず深呼吸してみましょう。

深呼吸は緊張をほぐし、リラックスを促す効果があります。子育ては頑張りすぎないことも大切です。「完璧を求めない」、「自分の時間を持つ」、「困ったときは助けてもらう」などを心がけて、子どもの心と同様、自分の心を守ることにも大切にしてくださいね。

子どもの虐待とは

【身体的虐待】殴る、蹴る、叩く など

【ネグレクト(育児放棄)】

食事を与えない、著しく不潔な状態にする、病気やケガを放置する、家に閉じ込める など

【心理的虐待】

無視する、言葉で脅す、罵声を浴びせる、面前DV など

【性的虐待】

性行為を強要する、わいせつな映像を見せる、ポルノの被写体にする など

こんなことで困っていたら…

パートナーの子育て不参加

仕事や介護、家族の問題でストレスがたまっている

子どものしつけに困っている

再婚相手の子どもと、どう接してよいか迷っている

身近に相談相手がいなくて孤立している

♡ひとりで悩まず相談を♡

相談窓口

那須烏山市子ども課 TEL.0287-88-7116

児童相談所相談専用ダイヤル

児童相談所虐待対応ダイヤル

通話料 無料 TEL.0120-189-783

通話料 無料 TEL.189

自身が出産や子育てに悩んでいるとき、または周囲に子育てに悩む人がいるときはこちらにお電話ください。

あなたの電話で、守れる命があります。児童虐待かなと思ったら、すぐにお電話ください。

まちかど*レポート



市の魅力発信に励む大橋さん

自分らしさを表現し、チャレンジすること 大橋 尚子さん



なすから寺活の様子
前列左から2番目が大橋さん

プロフィール

- 住 所：旭2丁目
- 出身地：さくら市
- 趣味・特技：チアダンス、トレーニング、ショッピング、洋服のコーディネイト

なすから特派員として日々、市の魅力を発信し続けている大橋さん。4年前に県内初のシニアズチアダンスチームを結成し、現在も代表を務めているほか、寺院でヨガなどを行う「なすから寺活」、市内在住のお嫁さんの交流を図る「なすからハピヨメ会」など、地域を盛り上げる様々な活動をしています。

明るくて活動的な大橋さんですが、以前は、この市や自分のことが好きになれず苦しんだ時期があったそう。この気持ちを払拭したいと、やりたいことにチャレンジするようになりました。なすから特派員への応募もその1つだったそうで、「市の魅力を探る中で、知らなかった場所や人を意識するようになり、魅力に気付くことができました。自分の投稿がきっかけで、この市を知らなかった人が来てくれることも嬉しい」と話します。

「^{とし}齢を重ねることは老化ではなく進化」。この言葉を自ら体現したいと、本格的な体のトレーニングを始めた大橋さん。昨年出場したボディメイクコンテストでは、地区大会で優勝し、全国大会でも見事5位に輝きました。「人生の主人公であるために、自分らしさを表現すること、行動に移すことが大切。私の活動が、誰かがチャレンジするきっかけになれば」と笑顔で語りました。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が令和5年4月に全線開業100周年を迎えることを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

神野紘宇さん(熊田)からの思い出の写真



小埜地内を走るトロツコ列車



銀河鉄道999 大金駅に現る



南那須町民号旅行 早朝に大金駅を待つ



あなたのとっておきエピソードをお待ちしています！

詳細は、市ホームページをご確認ください。

■問合 まちづくり課地域づくりグループ

☎02871831151

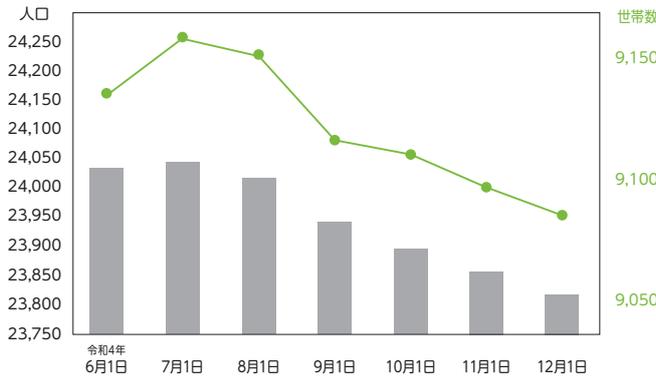
Eメール: machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp





市の人口

令和4年12月1日現在



人口 23,818(-36)

男	11,844	女	11,974
出生	12	死亡	49
転入	35	転出	34

世帯数 9,087

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。

ふるさと応援寄附金
中山成一様(宇都宮市)から12万円、駒田憲之様(三重県津市)、吉田誠様(石川県金沢市)から各1万円、匿名希望者様55人から合計87万4千円が本市に寄附され



「ブ」寄附

●令和4年度よい歯のコンクール
【よい歯の優良学校】▽入選：七合小
【標語の部】▽特選：齊藤佳子(南那須中3年)▽入選：高根沢柚乃(烏山小3年)、菊地駿斗(江川小4年)
【図画ポスターの部】▽入選：仁野平悠真(七合小3年)
【作文の部】▽入選：小林結衣(荒川小6年)、川上爽蒼(南那須中3年)



受賞

おめでとうございます
赤ちゃん名 (保護者) 住所
新井陽尊 (善満・裕実) 宮原
篠崎星那 (美孝・みゆき) 福岡
関優莉菜 (尚哉・実花) 八ヶ代
阿相虎頼 (憂輝・雲絵) 旭上白
斉藤燈真 (真・はる香) 南上白
天野蘭叶 (陽平・夏海) 宇井
小池虎毅 (達也・夏奈) 南上白
※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



おめでとう

取得率向上を目指して マイナンバーカード出張申請会

市では、マイナンバーカードの取得率向上のため、自治会等に出張してマイナンバーカード申請の支援を行っています。

12月14日(水)には、横枕自治会と小木須中自治会に出張し、合わせて10名の申請を受け付けました。今回の出張申請では初の試みとして、持参した書類等が全て揃っている場合に、完成したカードを郵送で受け取れる申請方法を取り入れました。今後は、この申請方法を市役所窓口でも取り入れていく予定です。

また、当日は、(株)ドコモビジネスソリューションズ栃木支店と(株)カンセキの協力で、デジタル技術を活用したお買い物体験が併せて行われました。会場に居ながら、モニターに映る店頭の商品を見て説明を聞き、お買い物をする体験ができる機会に、参加者からは、「こういった宅配サービスがあると助かる」との声がありました。



出張申請の様子 (小木杉中自治会)



お買い物体験 (横枕自治会)

ました。
■一般寄附金
特別養護老人ホーム愛和苑様から

10万242円が本市に寄附されました。



編集後記

あけましておめでとうございます！今年も元気いっぱい取材に行かせていただきますので、よろしくお祈りします☺2023年の私の目標は、「運動の習慣化」です！この場で宣言しておけばきっと運動を続けられるはず?!...なんかサボってそうだなーと思ったら、私に喝を入れてください!!! (M)

はじめましてKです！実は以前にも編集後記に登場したことがあるのですが、覚えていますか？過去の号で探してみてください。(ヒントはホテルです)今回初めて特集を担当しました。民生委員・児童委員の方のインタビューなども掲載していますので、ぜひ、読んでいただけると嬉しいです！



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『105歳の聖火ランナー』 箱石 英政
- ◇『もう悩まない耳鳴りに勝つ方法』 山田 浩之
- ◇『月の立つ林で』 青山 美智子
- ◇『犬小屋アットホーム!』 大山 淳子
- ◇『伝言猫がカフェにいます』 標野 凧
- ◇『任務 松本清張未刊行短篇集』 松本 清張
- ◇『ここから見えるもの』 マリアナ レーキ

◆児童図書◆

- ◇『大迫力!戦慄の都市伝説大百科』 朝里 樹
- ◇『勇気を出して、はじめの一步』 本田 有明
- ◇『ダーウィンのドラゴン』 リンゼイ ガルビン

- ◇『ラッキーカレー』 シゲタ サヤカ
- ◇『かえりみちとつとこ』 ひろまつ ゆきこ
- ◇『100ぴきかぞく』 古沢 たつお
- ◇『ぼくの窓から』 オタヴィオ ジュニオール
- ◇『アナトルとねこ』 イブ タイタス

◆電子図書◆

- ◇『ペコロスの母に会いに行く』 岡野 雄一
- ◇『流星ワゴン』 重松 清
- ◇『ふたつめの月』 近藤 史恵
- ◇『ルパンの娘 - 映画ノベライズ』 横関 大/原作
- ◇『マンガでわかる チーズはどこへ消えた?』 スペンサー ジョンソン/原作
- ◇『もふもふ動物の赤ちゃん』 小宮 輝之/監修



文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

初霜や屋根の雀の忍び足

古内 晴代 (金井)

小春日や丸々ひと日我の時間

塩野目洋子 (初音)

どっこいしよと綿布団干す日和かな

川俣登志子 (旭)

母似なる着ぶくれ姿背も丸む

伊藤 善子 (田野倉)

川柳

篠崎 酔月 選

元日は氏神さまに初詣で

吉澤 恒子 (落合)

初日の出茜に映えて幸予感

五月女佳子 (谷浅見)

初春を迎えて困む祝い膳

萩原 宣子 (中央)

透き通る心で迎えるお正月

石川由美子 (興野)

短歌

滝口 節子 選

恙無く生きてるだけで幸せなり戦に暮れる彼の地
 川俣登志子 (旭)

大相撲初めてつけた星取表に相撲が更に面白くなる
 安藤 伯麗 (旭)

週一度苦勞しながらパズル解く眠れる脳の目覚め
 石川 ミチ (大桶)

世に生まれ人も自分も幸せを願う一生懸命生きて
 滝 輝巳 (福岡)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ (〒321-10692 那須烏山市中央1丁目1番1号) まで、郵送で作品を応募ください。

広告掲載募集中

市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。掲載基準などの詳細は、市ホームページで確認するか、下記あてお問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ
 ☎0287-83-1112



広報なすからすやまが



マチイロで読めます。

自治体ももっと身近になる機能が盛りだくさん!

ダウンロードはこちらから



みんなの自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真について一言(50字程度)記載してください。

■問合 総合政策課広報広聴グループ

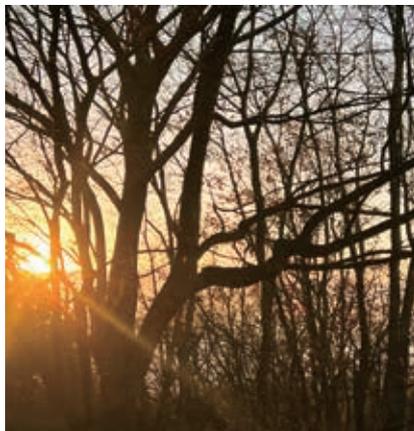
Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「まずまずの出来かな」

ネギチユウさん

家内に作った網代編の竹のバッグを娘も欲しいと言うので、家内のよりも数段グレードアップして作りました。



「早朝の雲海」

norinoriさん

自宅から、朝早くの眺めです。寒くなってきた、朝起きるのが辛い時期に、早起きしたときのご褒美です♥



「トイレさせない。ゼツタイ。」

ネコあるある早く言いたいさん

トイレに行ってみると!!! 便座あったかいのかなあ? トイレさせてほしいなあ。



生活発表会

12月に入り、市内の幼稚園・保育園で発表会が開かれました。

園児たちは、保護者が見守る中、一生懸命練習してきた劇やダンス、歌などを披露していました。

今月号では、2つの園の様子を写真で紹介します。



①②つくし幼稚園、③④烏山みどり幼稚園



菓子工房S-I-MADAYAとコラボ
ビストロで嶋田屋さんのケーキが
食べられます。癒しのカフェ時間
はいかがですか?
デザートプレート600円ドリンク付き
田野倉47番地3 ☎0286-8338872
ビストロヘルドウォーテ

医療共済

メディフル

Point その1

1日入院で治療共済金**30万円**が受け取れます ※1

Point その2

一生保障や先進医療保障など、**自由に設計**できます

※1 治療共済金額30万円の場合

JAなす南本店 共済課 96-6165

●南那須支店 88-7121 ●烏山支店 83-2111
●馬頭支店 92-2711 ●小川支店 96-2131

JA共済
22096010221

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。ご契約に際しては、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

有料広告